

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： キヤノン インクボトル BCI-1101PM

製品コード： 4459A

会社名： キヤノン株式会社

住所： 〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2

問合せ先： キヤノンマーケティングジャパン株式会社 製品安全推進担当

住所： 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

電話番号： 03-6719-9729

MSDS番号： IC1242-0403

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

一般名： インクジェットプリンタ用インク

成分及び含有量：

成分	重量%	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
グリセリン	5 - 10	C ₃ H ₈ O ₃	(2)-242(化審法)	56-81-5
エチレングリコール	5 - 10	C ₂ H ₆ O ₂	(2)-230(化審法)	107-21-1
イソプロピルアルコール	1 - 5	C ₃ H ₈ O	(2)-207(化審法)/ 2-(8)-319(安衛法)	67-63-0
アンモニア誘導体	5 - 10	営業秘密	営業秘密	営業秘密
水	60 - 80	H ₂ O	なし	7732-18-5

危険有害成分：

グリセリン、エチレングリコール、イソプロピルアルコール

製品安全データシート

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：

可燃性がある。

特定の危険有害性：

情報なし

主要な徴候：

吸入： 通常の使用条件下での悪影響は予測されない。
 蒸気やミストに過度に暴露すると、呼吸器の刺激や咳、めまい、眠気、頭痛、吐き気を起こす可能性がある。

経口： 腹痛や下痢、めまい、眠気、倦怠感、頭痛、吐き気、嘔吐を起こす可能性がある。

目： わずかな刺激性があるかもしれない。（項11. 有害性情報 参照）

皮膚： わずかな刺激性があるかもしれない。
 感作性は予測されない。（項11. 有害性情報 参照）

慢性影響： 情報なし

分類の名称（分類基準は日本方式）：

引火性液体
 GHS分類については、項16.その他の情報 参照

4. 応急措置

吸入した場合：

症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の助言を得る。

皮膚に付着した場合：

石鹼や刺激の弱い洗剤を使い、水で良く洗浄する。
 刺激が残る場合は、医師の助言を得る。

目に入った場合：

直ちにほどよく温かい、ゆるやかな流水で5分間、または取り除かれるまで洗浄する。
 刺激が残る場合は、直ちに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすがせる。コップ1、2杯の水を飲ませる。
 刺激や不快感が生じた場合は、直ちに医師の助言を得る。

医師に対する特別注意事項：

なし

製品安全データシート

5 . 火災時の措置

消火剤：

二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤

不適切な消火剤：

なし

火災時の特定危険有害性：

なし

特定の消火方法：

なし

消火を行う者の保護：

必要に応じ、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

危険な燃焼生成物：

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物

6 . 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

目や皮膚、衣服に付かないようにする。

環境に対する注意事項：

河川や下水に流さない。

除去方法：

濡れた布や紙で拭き取る。

製品安全データシート

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策： 通常の取扱いでは不要。

注意事項： 適切な換気のもとで使用する。
 目や皮膚、衣服に付かないようにする。もし付いた場合は、速やかに洗浄する。

安全取扱い 漏れや飛び散りが発生する可能性があるため、インクボトルを振らない。

注意事項：

保管：

保管条件： 日光を避け、涼しい所に保管する。
 熱や炎に近づけない。

容器包装材料：適用外（本製品は、他の容器包装へ移し替えて保管することを意図されていない。）

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

適切な換気を行う。

製品：	労働安全衛生法 日本産業衛生学会		ACGIH TLV
	管理濃度	許容濃度	
インクジェットプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし
成分：			
グリセリン	設定なし	設定なし	グリセリン ミスト： TWA 10 mg/m ³
エチレングリコール	設定なし	設定なし	天井値 100 mg/m ³ (エアロゾル)
イソプロピルアルコール	200 ppm	最大許容濃度 400 ppm, 980 mg/m ³	TWA 200 ppm, 492 mg/m ³ STEL 400 ppm, 984 mg/m ³

保護具：

呼吸器の保護具： 必要 不要

目/顔の保護具： 必要 不要

皮膚の保護具： 必要 不要

製品安全データシート

9 . 物理的及び化学的性質

物理的状态：

形状 / 色： 液体 / マゼンタ

臭い： 微臭

pH： 7 - 9

物理的状态が变化する特定の温度 / 温度範囲：

沸点 / 範囲()： データなし

融点 / 範囲()： データなし

分解温度()： データなし

引火点()： 53.6 (タグ密閉式 / 継続燃焼性なし)

発火点()： データなし

爆発特性： なし(推定)

酸化性： なし(推定)

蒸気圧： データなし

蒸気密度： データなし

密度 / 比重： 1.0 - 1.1

溶解性：

水溶性： 可溶

脂溶性： データなし

オクタノール

/ 水分配係数： データなし

蒸発率： 60 - 80 %

10 . 安定性及び反応性

安定性： 安定 不安定

特定条件下で生じる

危険な反応： なし

避けるべき条件： なし

避けるべき材料： 酸、塩基、酸化剤、還元剤

有害な分解生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、アンモニア

製品安全データシート

11. 有害性情報

急性毒性：

吸入：データなし

経口：ラット LD₅₀ > 2000 mg/kg

OECD Guidelines No.401 (1987), 92/69/EEC Method B1

経皮：データなし

局所効果：

目：ラビット Minimal irritant

OECD Guidelines No.405 (1987), 92/69/EEC Method B5

皮膚：ラビット Moderate irritant

OECD Guidelines No.404 (1992), 92/69/EEC Method B4

感作性：

モルモット Non-sensitizer

OECD Guidelines No.406 (1992), 96/54/EC Method B6

慢性毒性・長期毒性：

データなし

発がん性：

データなし

変異原性：

Ames試験（ネズミチフス菌、大腸菌）：陰性

生殖毒性：

イソプロピルアルコール：

GHS関係省庁連絡会議 GHS分類区分2

上記会議では、以下の理由により本物質を区分2と判断した。

ラットでの飲料水投与による2世代繁殖試験では、繁殖能および出生仔の発育に影響なかった。一方、ラットでの発育毒性・催奇形性試験では、催奇形性はなかったが、親動物に体重増加の低下、麻酔作用等の毒性を示した用量で、妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められた。

ただし、通常の手扱いにおいては、上記の有害影響がおこるようなイソプロピルアルコールへの暴露は予測されない。

その他：

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：

イソプロピルアルコール：

GHS関係省庁連絡会議

GHS分類区分1（中枢神経系、腎臓、全身毒性）

GHS分類区分3（呼吸器刺激性）

上記会議では、以下の理由により本物質を区分1および区分3と判断した。

ラットでの吸入暴露による活動性の低下、およびヒトでの経口摂取による急性中毒では消化管への刺激性、血圧、体温等の低下、中枢神経症状、腎障害が認められた。またヒトで鼻、喉への刺激性が認められた。

ただし、通常の手扱いにおいては、上記の有害影響がおこるようなイソプロピルアルコールへの暴露は予測されない。

製品安全データシート

1 2 . 環境影響情報

移動性：	データなし
残留性/分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
生態毒性：	データなし
その他の有害性：	データなし

1 3 . 廃棄上の注意

廃棄方法： 使用済みのインクボトルは、所定の回収窓口または回収スタンドに持ち込む。
 または、国の法律や地方自治体の条例に従って廃棄する。

1 4 . 輸送上の注意

国際規制：	
海洋汚染物質	
(IMDGコード)：	該当しない
国連分類：	該当しない
国連番号：	該当しない
国連輸送品目名：	該当しない
国連包装等級：	該当しない
特別な注意：	なし

1 5 . 適用法令

労働安全衛生法

危険物：引火性の物

名称等を表示すべき危険物及び有害物：イソプロピルアルコール（政令番号第2の3号）1 - 5 wt%

通知対象物：エチレングリコール（政令番号第75号） 7.5 wt%

 プロピルアルコール（政令番号第494号） 1 - 5 wt%

化学物質排出把握管理促進法（化管法）

・改正施行令^{*1}の施行前

 第一種指定化学物質^{*2}：エチレングリコール（政令番号43号） 7.5 wt%

 第二種指定化学物質：該当しない

・改正施行令^{*1}の施行後

 第一種^{*3}/第二種指定化学物質：該当しない

*1平成20年政令第356号に基づく改正施行令（平成21年10月1日施行）

*2平成21年度までの排出・移動量の把握の対象

*3平成22年度以降の排出・移動量の把握の対象

毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物：該当しない

消防法 指定可燃物：可燃性液体類（2m³以上の場合）

製品安全データシート

16. その他の情報

推定：類似組成インクまたは構成成分のデータに基づく推定

GHS分類：

引火性液体 区分3

生殖毒性 区分2

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

区分1 (中枢神経系、腎臓、全身毒性)

区分3 (呼吸器刺激性)

GHS関係省庁連絡会議によるイソプロピルアルコールの分類結果に基づく

ただし、通常の取扱いにおいては、上記の危険有害影響がおこるような暴露は予測されない。

引用文献：

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構 (WHO) 国際がん研究機関 (IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans
- ・GHS関係省庁連絡会議 GHS分類結果

略語：

- ・化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- ・安衛法：労働安全衛生法
- ・化学物質排出把握管理促進法 (化管法)：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- ・ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values (米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値)
- ・TWA: Time Weighted Average (時間加重平均)
- ・STEL: Short Term Exposure Limit (短時間暴露限界値)
- ・IARC: International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
- ・IMDGコード: International Maritime Dangerous Goods Code (国際海上危険物質規則)
- ・GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

本製品安全データシート (MSDS) は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、MSDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本MSDSは、その記載内容を保証するものではありません。